企業の皆さまへ

自然豊かな 岐阜県で 農業にチャレンジ

企業の農業参入を“ゼロから”支援します

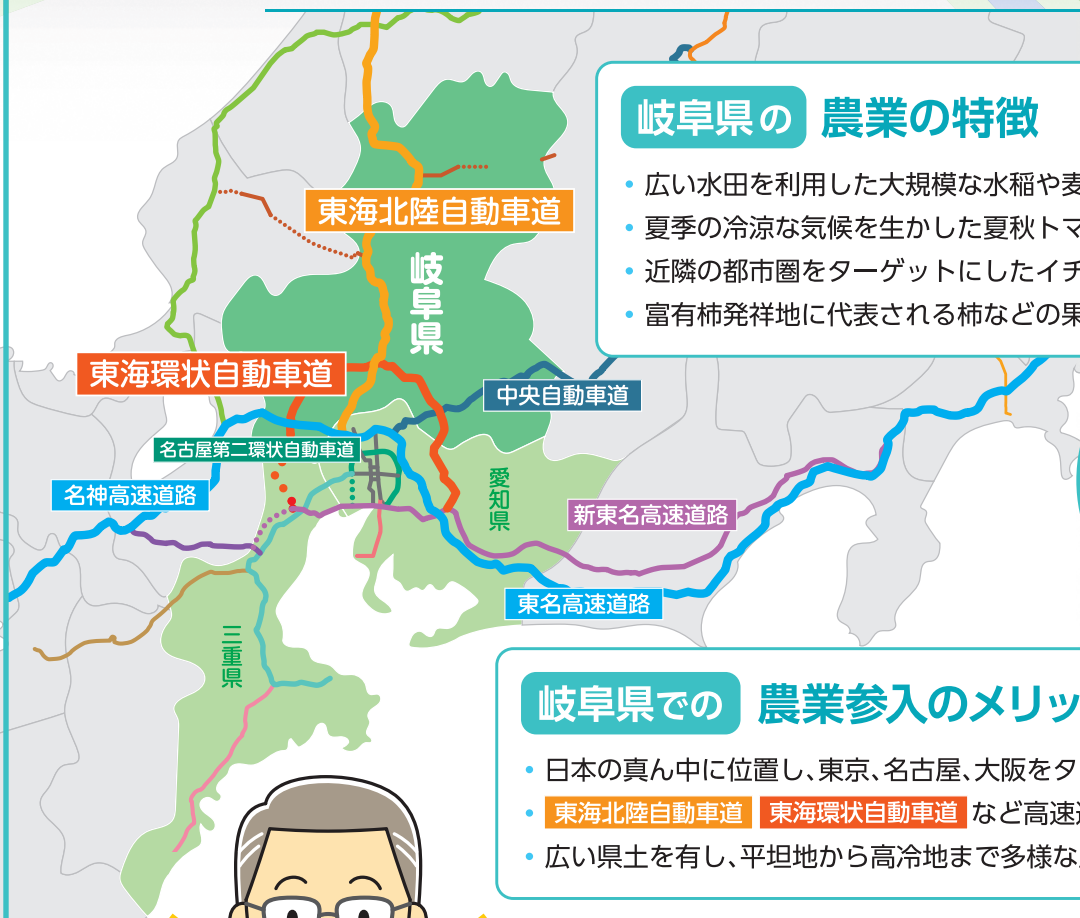


岐阜県の 農業の特徴

- 広い水田を利用した大規模な水稲や麦・大豆
- 夏季の冷涼な気候を生かした夏秋トマトなどの野菜
- 近隣の都市圏をターゲットにしたイチゴなどの施設園芸
- 富有柿発祥地に代表される柿などの果樹

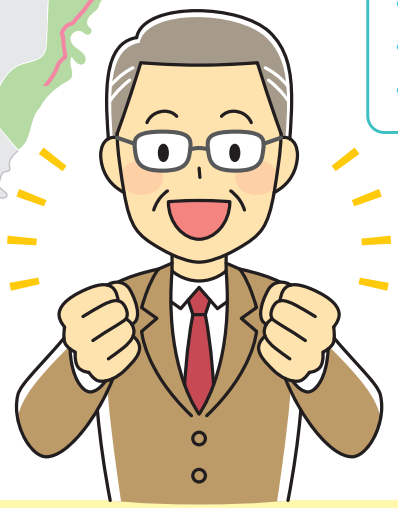






岐阜県での 農業参入のメリット

- 日本の真ん中に位置し、東京、名古屋、大阪をターゲットにできる
- 東海北陸自動車道 東海環状自動車道 など高速道路のアクセスが良い
- 広い県土を有し、平坦地から高冷地まで多様な農業が展開できる



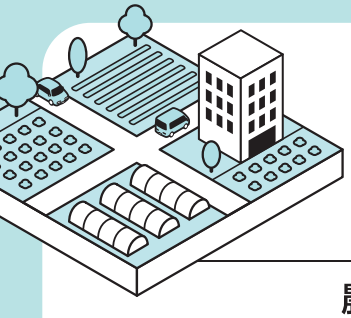
こんな思いをお持ちの企業の皆さま、ぜひご相談ください。

- 企業の力で地元や地域の農業に貢献したい
- 自社の技術で農業を盛り上げたい
- 農業に新たな可能性を見出したい

岐阜県に農業参入した企業の事例

- 土木建設会社が、農家出身の人材と機械操作のノウハウを生かし米栽培
- 特例子会社が、作業が楽なイチゴのベンチ栽培で観光農園を開設
- 人材派遣会社が、耕作放棄地を解消し、派遣業務と自社の野菜栽培を両立
- 会社周辺の柿園を引き受け、農地を守るとともに贈答用の柿生産で企業をPR
- 仕入に頼っていた農産物を自社生産し、原材料の安定確保

農業参入のご相談は、ぎふアグリチャレンジ支援センターへ



農業参入のポイント

農業参入前

地域のニーズと社内の合意
- 地域の課題と現地のニーズを理解
- 農業参入の目的整理と社内での合意形成

体制構築と社内風土づくり
- 取組を支える体制構築
- 社員参加を促す制度や風土づくり

経営計画と事業設計
- 農業特性を理解した経営計画や事業設計
- 成果指標の設定と実績の評価方法の明確化

関係機関や支援機関との連携
- 国や県、市町村など行政の役割に応じた連携
- 各専門家や支援機関の活用

農業参入後

人材確保と体制整備
- 参入地域で継続的に活動できる人材の確保
- 地域とつながり生産状況に対応できる体制づくり

事業の継続性を確保
- 事業成果と地域との調和の維持
- 経済的価値や社会的価値の見える化

ネットワークの形成
- 農業者や関係機関等との水平的な連携強化
- 企業や金融機関、大学など垂直的な連携構築
- 関連業界とのネットワーク構築や協議会づくり

農業参入の課題とその対策例

農業参入における課題

- 参入にあたり、何から取り組めばよいか分からない。
- 参入のための農地の情報をどう収集すればよいかわからない。
- 地域独自の農業慣行やルールへの理解不足で農地の確保が進まない。
- 地元農家や地域住民から企業の利益優先や早期撤退を警戒される。
- 経営計画作成に際して、融資や補助金などの支援制度の活用方法がわからない。
- 事業設計にあたって、栽培技術や営農ノウハウが蓄積されていない。

「ぎふアグリチャレンジ支援センター」にご相談ください

解決のための対策

- 参入の流れや押さえておくべき制度や技術についての情報収集。
- 作物や栽培方法にあった農地を選定。
- 市町村や関係機関などから参入地域に関する情報収集や、農地確保にあたって農業委員会との連携。
- 市町村や自治会の協力のもと、農家や住民などとの話し合いの場づくり。
- 農業の融資制度や補助事業に関する情報収集や利用条件の確認。
- 行政や支援機関、専門家等からの事業計画の作成支援。

農業参入のご相談は、ぎふアグリチャレンジ支援センターへ

◆ ぎふアグリチャレンジ支援センター

〒500-8384 岐阜県岐阜市薮田南 5-14-12［（一社）岐阜県農畜産公社内］

TEL：058-215-1550　FAX：058-276-1268　Mail：agri-stock@gifu-notiku.com

岐阜県 農政部 農業経営課

相談申込 QR